

平成 24 年度

事業報告書

決算書



目 次

I. 平成 24 年度事業報告書

1. 事業概況（平成 24 年度を振り返って）	3
2. 総 裁	3
3. 役員構成	3
4. 会員数	3
5. 会議等	4
6. 登記事項	5
7. 組織及び職員数	5
8. 恩賜発明賞・恩賜記念賞の贈呈	6
9. 発明奨励振興事業	6
(1) 全国発明表彰	6
(2) 地方発明表彰	7
(3) 我が国における優れたイノベーションの選定・顕彰に関する検討	7
10. 青少年創造性開発育成事業	7
(1) 第 71 回全日本学生児童発明くふう展	7
(2) 第 34 回未来の科学の夢絵画展	8
(3) 少年少女発明クラブ事業	8
(4) 地域活性化アイデア創作活動の実施	10
(5) 第 3 回全国少年少女チャレンジ創造コンテスト	10
(6) 第 56 回東京都児童生徒発明くふう展	10
(7) 青少年創造性開発育成海外交流	10
(8) 発明の日及び科学技術週間協賛事業	11
(9) 青少年創造性開発育成委員会	11
(10) 青少年の創造性開発育成事業に対する協賛制度	11
11. 知的財産権制度普及等事業	11
(1) 国際知的財産保護フォーラム	11
12. 地域機関との相互連携	12
(1) 第 60 回全国発明振興会議	12
(2) 地域協会会長等懇談会	12
13. 関係省庁への協力	12
(1) 文部科学省表彰関係事業への協力	12
(2) 特許庁産業財産権制度関係表彰事業への協力	12
14. 東京発明推進協議会	12
15. 公益事業の広報活動	12

II. 平成 24 年度決算書

貸借対照表	13
正味財産増減計算書	14
正味財産増減計算書内訳表	15
財務諸表に対する注記	16
附属明細書	17
財産目録	18
収支計算書	20
収支計算書（資金ベース）	21



## I. 平成 24 年度事業報告書

### 1. 事業概況（平成 24 年度を振り返って）

当協会は平成 24 年 4 月 1 日に内閣府より公益認定を受け、同日より公益社団法人発明協会としての活動を開始した。平成 24 年度は当協会の新たな出発の年であり、公益社団法人としての社会的な責務を果たすべく、発明の奨励、青少年の創造性開発育成、知的財産権制度普及等の公益事業を積極的に推進した。

まず、皇室より御下賜金を拝受し、全国発明表彰においては恩賜発明賞を、全日本学生児童発明くふう展においては恩賜記念賞をそれぞれ最も優秀な発明及び作品に贈呈した。また、発明奨励振興事業においては、我が国科学技術の振興と産業の発展に寄与すべく全国発明表彰及び地方発明表彰を実施した。更に青少年創造性開発育成事業においては、全日本学生児童発明くふう展、未来の科学の夢絵画展を開催するとともに全国に展開している少年少女発明クラブ事業、全国少年少女チャレンジ創造コンテスト事業の拡充・強化を図った。なお、青少年創造性開発育成事業に対する協賛制度においては平成 24 年度も数多くの企業より協賛を得ることができた。

以下、平成 24 年度の事業について報告する。

### 2. 総 裁 常 陸 宮 殿 下

### 3. 役 員 構 成 （平成 25 年 3 月 31 日現在）

会 長	1 名（代表理事）
副 会 長	6 名（内 1 名代表理事）
専務理事	1 名（業務執行理事）
常務理事	1 名（業務執行理事）
理 事	33 名
監 査 役	2 名
特別顧問	3 名
顧 問	3 名
参 与	3 名
幹 事	164 名

### 4. 会 員 数 （平成 25 年 3 月 31 日現在）

495 名

## 5. 会 議 等

### (1) 定時総会

- 日 時 平成 24 年 6 月 19 日 (月) 13 : 15 ~ 14 : 00  
場 所 ホテルオークラ 別館地下 2 階「アスコットホールⅡ」  
議 題 (1) 平成 23 年度事業報告及び決算承認の件  
(2) 平成 24 年度事業計画書・同収支予算書の件  
(3) 理事選任の件  
(4) 社員総会運営規程制定の件

### (2) 理事会

- ① 日 時 平成 24 年 5 月 17 日 (木) 12 : 00 ~ 13 : 15  
場 所 東商スカイルーム  
議 題 (1) 平成 23 年度事業報告 (案) について  
(2) 平成 23 年度決算 (案) について  
(3) 理事選任 (案) について  
(4) 定時社員総会の招集 (案) について  
(5) 特別顧問、顧問及び参与の推薦について  
(6) 幹事の推薦について  
(7) 報告事項  
・ 代表理事等の職務執行状況について  
(8) その他  
・ 利益相反取引について  
・ 平成 23 年度における青少年創造性開発育成事業に対する協賛制度の結果について
- ② 日 時 平成 24 年 6 月 19 日 (月) 14 : 05 ~ 14 : 15  
場 所 ホテルオークラ 別館地下 2 階「アスコットホールⅢ」  
報告事項 (1) 会員の入会状況について  
(2) 一般社団法人発明推進協会からの特定寄附受入について  
(3) 地域における連携機関について
- ③ 日 時 平成 25 年 3 月 21 日 (木) 12 : 00 ~ 13 : 30  
場 所 霞山会館「霞山の間」  
議 題 (1) 平成 25 年度事業計画・同収支予算 (案) について  
(2) 「戦後日本のイノベーション 100 選」の選定・顕彰について  
(3) 公益目的事業の一部追加に伴う変更認定申請について  
(4) 報告事項  
・ 理事の退任について  
・ 代表理事等の職務執行状況について

### (3) 幹事会

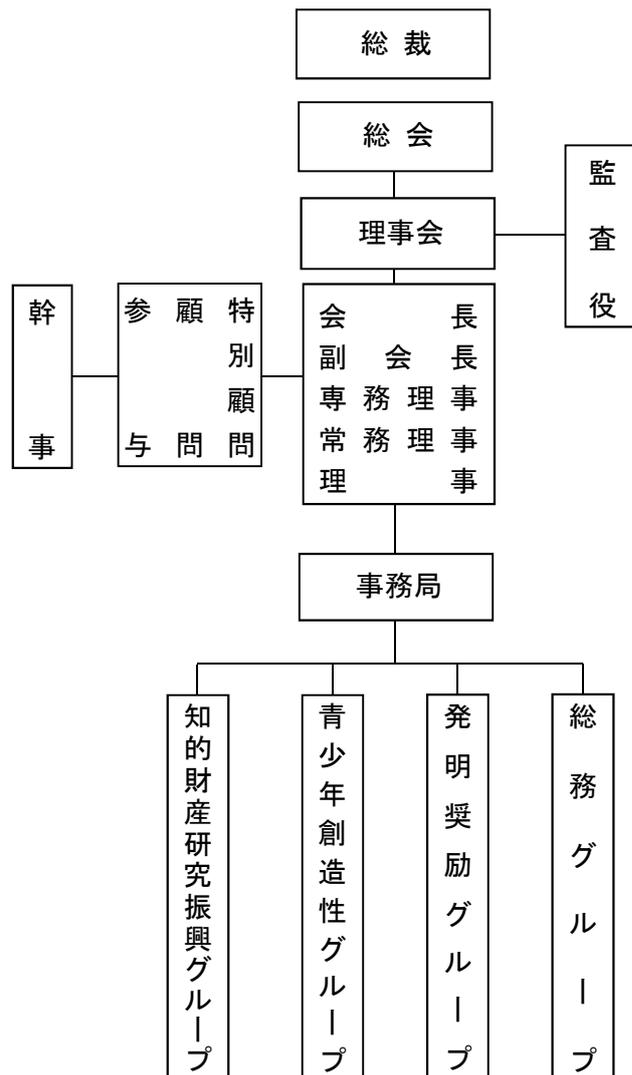
- 日 時 平成 24 年 6 月 19 日 (月) 14 : 15 ~ 14 : 25  
場 所 ホテルオークラ 別館地下 2 階「アスコットホールⅢ」  
報告事項 (1) 幹事について  
(2) 新法人移行後の発明協会について  
(3) 平成 24 年度事業計画及び収支予算について

## 6. 登記事項

- |          |                  |
|----------|------------------|
| ①名称等変更登記 | 平成 24 年 4 月 1 日  |
| ②理事変更登記  | 平成 24 年 6 月 28 日 |
| ③理事変更登記  | 平成 25 年 3 月 28 日 |

## 7. 組織及び職員数 (平成 25 年 3 月 31 日現在)

機構・組織図



職員数 21 名

## 8. 恩賜発明賞・恩賜記念賞の贈呈

平成 24 年度全国発明表彰において、独創性に富む極めて優れた発明により我が国科学技術の振興と産業の発展に大きく貢献した発明者に恩賜発明賞を、また、第 71 回全日本学生児童発明くふう展において、最も優秀な作品の創作者に恩賜記念賞を贈り、その栄誉をたたえた。

- 恩賜発明賞 「電子コンパスの自動調整技術の発明」  
山下 昌哉 旭化成株式会社  
疋田 浩一 旭化成エレクトロニクス株式会社
- 恩賜記念賞 「ガウスでGO！手回し協力かたむき迷路」  
大屋 美結 千葉県市原市立ちはら台桜小学校 6年

## 9. 発明奨励振興事業

### (1) 全国発明表彰

- 主催 (公社) 発明協会
- 後援 文部科学省、経済産業省、特許庁、日本経済団体連合会、日本商工会議所、日本弁理士会、朝日新聞社

本年度は、全国各道府県における発明協会(以下、「地域協会」という)、企業、関係団体等からの推薦により、平成 24 年 2 月 10 日(金)から 3 月 6 日(火)にかけて意匠・化学・機械・電気及び 21 世紀専門部会を開催し、平成 24 年 4 月 11 日(水)の選考委員会において審査を行い、第 1 表彰区分として恩賜発明賞、内閣総理大臣発明賞等の特別賞ほか各賞を、第 2 表彰区分として 21 世紀発明賞及び 21 世紀発明奨励賞を選考した。

また、恩賜発明賞、内閣総理大臣発明賞等特別賞を受賞した法人の代表者に発明実施功績賞を、21 世紀発明賞、21 世紀発明奨励賞を受賞した法人の代表者に 21 世紀発明貢献賞をそれぞれ贈呈した。

表彰式は、平成 24 年 6 月 19 日(火)ホテルオークラ東京において、当協会総裁常陸宮殿下同妃殿下御臨席のもと、竹歳内閣官房副長官、奥村文部科学副大臣、柳澤経済産業副大臣をはじめとする来賓や各界から多数の参列者を得て挙行了した。

- 第 1 表彰区分  
恩賜発明賞 1 件 2 名 特別賞 9 件 24 名 発明賞 12 件 48 名  
発明実施功績賞 10 件 11 名
- 第 2 表彰区分  
21 世紀発明賞 1 件 4 名  
21 世紀発明奨励賞 2 件 5 名  
21 世紀発明貢献賞 2 件 2 名
- 発明奨励功労賞 13 名

なお、恩賜発明賞の受賞者には副賞として畠山一清賞を贈呈した。その他特別賞受賞者に対し副賞を贈呈した。

## (2) 地方発明表彰

主催 (公社) 発明協会  
共催 全国の地域協会  
後援 文部科学省、特許庁、中小企業庁、各経済産業局、北海道、青森県、静岡県、愛知県、福井県、鳥取県、高知県、長崎県、日本弁理士会

本年度は、全国の地域協会から多数推薦された中から、平成 24 年 7 月 31 日 (火) に開催した中央選考委員会及び平成 24 年 8 月下旬から 9 月上旬にかけて各地方で開催した地方選考委員会において各賞を選考した。

また、表彰式は、以下のとおり平成 24 年 10 月上旬から 11 月下旬にかけて挙行し、計 533 件、1,279 名を表彰した。

- ・北海道地方 平成 24 年 10 月 12 日 (金) 北海道旭川市
- ・東北地方 平成 24 年 11 月 14 日 (水) 青森県青森市
- ・関東地方 平成 24 年 11 月 27 日 (火) 静岡県静岡市
- ・中部地方 平成 24 年 10 月 2 日 (火) 愛知県名古屋市
- ・近畿地方 平成 24 年 11 月 16 日 (金) 福井県福井市
- ・中国地方 平成 24 年 10 月 31 日 (水) 鳥取県鳥取市
- ・四国地方 平成 24 年 10 月 23 日 (火) 高知県高知市
- ・九州地方 平成 24 年 11 月 8 日 (木) 長崎県長崎市

## (3) 我が国における優れたイノベーションの選定・顕彰に関する検討

我が国における戦後の優れたイノベーションを選定・顕彰する事業を平成 25 年度より開始すべく、その事前準備のため、学識経験者で構成するイノベーション選定小委員会を 2 回開催し、選定対象の定義、基準等について検討を行った。また、本選定に際しての基礎資料とすべく、広く一般を対象に戦後日本のイノベーションに関する WEB アンケートを実施した。

## 10. 青少年創造性開発育成事業

### (1) 第 71 回全日本学生児童発明くふう展

主催 (公社) 発明協会  
後援 文部科学省、経済産業省、特許庁、日本弁理士会、NHK、毎日新聞社、  
(公財) 日本科学技術振興財団・科学技術館  
協賛 全国連合小学校長会、全日本中学校長会、全国高等学校長協会、  
(公社) 全国工業高等学校長協会

本年度の全日本学生児童発明くふう展は、各地域で開催された発明くふう展等において

優秀な成績を収めた作品を中心に全国の地域協会より推薦された 777 点の作品について、平成 25 年 1 月 10 日（木）に審査幹事会、1 月 24 日（木）に審査委員会を開催して審査を行い、恩賜記念賞、内閣総理大臣賞等の特別賞ほか各賞を選考した。

展覧会は、平成 25 年 3 月 27 日（水）から 3 月 31 日（日）まで、東京・北の丸公園内の科学技術館において開催した。

表彰式は、平成 25 年 3 月 27 日（水）科学技術館において、当協会総裁常陸宮殿下同妃殿下御臨席のもと、藤木完治文部科学審議官、深野弘行特許庁長官をはじめ来賓多数の参列を得て、同館地下 2 階「サイエンスホール」において挙行了した。

また、同展の開催に併せて企業等の協力により発明教室を開催し、多数の児童生徒が創作活動に親しんだ。

・第 71 回全日本学生児童発明くふう展入賞作品

○恩賜記念賞 1 点 ○特別賞 14 点 ○奨励賞 20 点 ○入選 124 点

更に、世界知的所有権機関（WIPO：国連の専門機関）の協力を得て、同展において WIPO 賞 1 点を贈呈した。

## (2) 第 34 回未来の科学の夢絵画展

主催 (公社) 発明協会

後援 文部科学省、経済産業省、特許庁、国立科学博物館、日本弁理士会、NHK、朝日新聞社、朝日小学生新聞、朝日中学生ウイークリー

協賛 (公社) 日本美術教育連合、(公財) 美育文化協会

全国の小・中学校、幼稚園・保育園及び外国人学校の児童生徒を対象に作品を募集し、本年度は 10,804 点の応募があった。平成 24 年 2 月 15 日（水）の審査委員会で選考された入賞作品を、平成 24 年 4 月 10 日（火）から 4 月 22 日（日）まで東京上野・国立科学博物館に展示した。なお、表彰式は、棒田文部科学省研究振興局振興企画課奨励室長、中尾特許庁総務部総務課長をはじめ関係省庁、関係団体、当協会役員等の参列を得て、4 月 20 日（金）に同博物館日本館において挙行了した。

・「小学校・中学校の部」

○特別賞 11 点 ○優秀賞 50 点 ○奨励賞 73 点

・「幼稚園の部」

○特別賞 1 点 ○優秀賞 5 点 ○奨励賞 39 点

・「在日外国人学校の部」

○特別賞 1 点 ○優秀賞 5 点 ○奨励賞 17 点

## (3) 少年少女発明クラブ事業

### ①少年少女発明クラブ

本年度新設された少年少女発明クラブは 11 ヶ所であり、既設クラブとあわせて全国で 215 ヶ所のクラブが活動を行った。

〔新設少年少女発明クラブ一覧〕

クラブ名	開設日	場 所
有田川町少年少女発明クラブ	平成 24 年 5 月 23 日	和歌山県有田川市
宇佐少年少女発明クラブ	平成 24 年 6 月 18 日	大分県宇佐市
くにさき少年少女発明クラブ	平成 24 年 6 月 18 日	大分県国東市
三好少年少女発明クラブ	平成 24 年 7 月 23 日	徳島県三好市
橋本市少年少女発明クラブ	平成 24 年 8 月 27 日	和歌山県橋本市
愛知みよし少年少女発明クラブ	平成 24 年 8 月 29 日	愛知県みよし市
幸田町少年少女発明クラブ	平成 24 年 9 月 10 日	愛知県額田郡幸田町
松江少年少女発明クラブ	平成 25 年 1 月 31 日	島根県松江市
大衡村少年少女発明クラブ	平成 25 年 2 月 7 日	宮城県黒川郡大衡村
田辺市少年少女発明クラブ	平成 25 年 3 月 13 日	和歌山県田辺市
大阪市生野少年少女発明クラブ	平成 25 年 3 月 13 日	大阪府大阪市

② 第 71 回少年少女発明クラブ全国会議

少年少女発明クラブの指導・運営に携わる関係者を対象に、効果的な指導方法に関する情報交換等を目的とした全国会議を開催した。

- ・開催日：平成 24 年 11 月 16 日（金）～17 日（土）
- ・会 場：国立オリンピック記念青少年総合センター
- ・出席者：同クラブ会長、企画運営委員、指導員、地域協会担当者等 185 名

③ 第 72 回少年少女発明クラブ全国会議

少年少女発明クラブの指導・運営に携わる関係者を対象に、公益認定法等の諸基準に対応したクラブ事業運営等を議題に全国会議を開催した。

- ・開催日：平成 25 年 2 月 19 日（火）
- ・会 場：発明会館ホール
- ・出席者：同クラブ会長、企画運営委員、指導員、地域協会担当者等 184 名

④ 少年少女発明クラブ指導員研修会

少年少女発明クラブ指導員の資質の向上を図るため、ブロック別研修会（6 ブロック）及び都道府県別研修会（10 箇所）を開催した。

⑤ 少年少女発明クラブニュースの発行

少年少女発明クラブにおける創意工夫活動の成果、各種イベントの告知・報告、新設クラブの紹介等を掲載した「少年少女発明クラブニュース」を隔月（計 6 回）で発行し、全国の少年少女発明クラブ、全国の地域協会、地方自治体、科学館等を通じて広く一般に配布した。

⑥ 「はつめいキッズ」ホームページサイトの公開

少年少女発明クラブをはじめとした青少年創造性開発育成事業全般を紹介し、青少年の創造性開発育成の普及を図ることを目的に、ホームページ「はつめいキッズ」を一般公開した。

\*本事業の①、②、④、⑤、⑥については、(財) JKA 補助事業の一部として実施した。

#### (4) 地域活性化アイデア創作活動の実施

北海道釧路市及び宮城県仙台市において、子どもたちが地域社会における実際の課題に挑戦し、解決策としてのアイデア創作と発表会を行う創作活動を実施した。

テーマ：釧路市「くしろ子供観光大使になろう！」

仙台市「自然エネルギーで東北を明るくしよう！！プロジェクト」

\*本事業は、(財) JKA 補助事業の一部として実施した。

#### (5) 第 3 回全国少年少女チャレンジ創造コンテスト

主催 (公社) 発明協会

後援 文部科学省・経済産業省・特許庁・日本弁理士会・NHK・読売新聞社  
東京工業大学

協賛 全国連合小学校長会・全日本中学校長会

本年度は、全国 97 地域で開催した地区大会に参加した 996 チーム (2,988 人) について、平成 24 年 9 月 25 日 (火) に開催したコンテスト委員会において全国大会に出場する 60 チームを選考した。

全国大会出場作品を「はつめいキッズ」サイトにて公開し、平成 24 年 10 月 15 日 (月) ~11 月 12 日 (月) において一般閲覧者によるアイデアデザイン投票を行い、期間中に 2,000 を超える投票があった。

全国大会は、平成 24 年 11 月 17 日 (土) 東京・東京工業大学屋内運動場において開催し、コンテスト委員会において文部科学大臣賞、特許庁長官賞の特別賞ほか各賞を選考した。引き続き、関係官庁及び関係団体、当協会役員等の参列を得て表彰式を挙行了した。

・第 3 回全国少年少女チャレンジ創造コンテスト入賞チーム

○特別賞 2 チーム ○優秀賞 8 チーム

\*本事業は、(財) JKA 補助事業の一部として実施した。

#### (6) 第 56 回東京都児童生徒発明くふう展

東京都からの請負事業として、第 56 回東京都児童生徒発明くふう展を開催した。展覧会は東京都庁第二本庁舎 1 階において平成 24 年 11 月 22 日 (木) ~25 日 (日) にかけて開催し、特別賞 13 点、優秀賞 21 点、入選 46 点の計 80 点を展示した。また、表彰式を会期中の平成 24 年 11 月 23 日 (金) に都議会議事堂 1 階都民ホールにおいて開催した。

#### (7) 青少年創造性開発育成海外交流

##### ① 青少年創造性開発海外交流タイ派遣団

タイの発明奨励団体 (Office of the Basic Education Commission : OBEC) の招聘により、平成 24 年 6 月 26 日 (火) から 7 月 2 日 (月) にかけて、青少年創造性開発育成と国際交流親善を図ることを目的に、第 69 回全日本学生児童発明くふう展及び第 1 回全国少年少女チャレンジ創造コンテストにおいて優秀な成績をおさめた青少年及び当協会

職員の計 12 名による「青少年創造性開発育成海外交流タイ派遣団」を結成し、2012 世界青少年発明工夫展に参加した（参加：9ヶ国、206点）。

#### ②2012 発明奨励国際フォーラム

世界各国の発明奨励団体間の国際的連携の促進を目的とし、平成 24 年 6 月 27 日（水）から 29 日（金）にタイ・バンコク市で開催の 2012 発明奨励国際フォーラム（International Forum for Invention Promotion : IFIP）に代表を派遣した（参加：9ヶ国・地域）。

\*本事業は、(財) JKA 補助事業の一部として実施した。

#### (8) 発明の日及び科学技術週間協賛事業

発明の日（平成 24 年 4 月 18 日）及び科学技術週間（平成 24 年 4 月 16 日～22 日）協賛事業として、当協会、地域協会並びに全国の少年少女発明クラブにおいて公開発明教室、発明クラブ作品展、無料発明相談会等各種の協賛事業を行った。

#### (9) 青少年創造性開発育成委員会

創造性開発育成事業の拡充・強化及び今後の在り方等について審議を行うため、「第 31 回青少年創造性開発育成委員会」を平成 24 年 12 月 5 日（水）に、また、「第 32 回青少年創造性開発育成委員会」を平成 25 年 2 月 25 日（月）に、それぞれ発明会館会議室において開催した。

#### (10) 青少年の創造性開発育成事業に対する協賛制度

当協会が行う青少年創造性開発育成事業について、広く産業界からの事業協賛を募り同事業の更なる充実を図った。

本年度においては、以下の協賛を得た。

- ・ゴールドスポンサー企業 12 社
- ・シルバースポンサー企業 9 社
- ・ブロンズスポンサー企業 23 社
- ・寄付企業 5 社

### 11. 知的財産権制度普及等事業

#### (1) 国際知的財産保護フォーラム

国際知的財産保護フォーラム（IIPPF）第 4 プロジェクトとして、「出張 IP カルチャー教室」を平成 24 年 7 月 21 日に開催した。

また、IIPPF 第 4 プロジェクト会合を平成 25 年 2 月 15 日に開催し、平成 24 年度の活動及び平成 25 年度の活動計画について審議した。

## 12. 地域機関との相互連携

### (1) 第 60 回全国発明振興会議

主催 (公社) 発明協会  
共催 (一社) 発明推進協会

本年度は、平成 25 年 3 月 1 日 (金)、発明会館地下 2 階ホール (東京都港区) において開催し、全国都道府県の発明奨励及び知的財産権主管者及び全国の地域協会役職員等の出席のもと地域における発明奨励事業の連携強化等に関する審議を行った。

### (2) 地域協会会長等懇談会

全国 8 ブロックで開催される地方発明表彰式にあわせ、地域協会会長及び役員並びに当協会役員等を交えた意見交換を行うため、懇談会を開催した。

懇談会は、北海道地方・平成 24 年 10 月 12 日 (金)、東北地方・11 月 14 日 (水)、関東地方・11 月 27 日 (火)、中部地方・10 月 2 日 (火)、近畿地方・11 月 16 日 (金)、中国地方・10 月 31 日 (水)、四国地方・10 月 23 日 (火)、九州地方・11 月 8 日 (木) の日程で開催した。

## 13. 関係省庁への協力

### (1) 文部科学省表彰関係事業への協力

科学技術の振興と発明の普及に寄与するため、叙勲、褒章並びに科学技術分野の文部科学大臣表彰科学技術賞 (開発部門、研究部門、技術部門等) の表彰対象者の調査並びに推薦を行った。

### (2) 特許庁産業財産権制度関係表彰事業への協力

経済産業省・特許庁が実施した「産業財産権制度関係功労者表彰」並びに「産業財産権制度活用優良企業等表彰」の表彰対象者等の調査並びに推薦を行った。

## 14. 東京発明推進協議会

第 1 回全体会議を平成 24 年 9 月 14 日に開催し、東京都下における発明奨励、青少年の創造性開発育成等の事業のあり方等について審議した。

また、平成 25 年 1 月 18 日に新年賀詞交歓会を開催し、会員、来賓等との交流を図った。

## 15. 公益事業の広報活動

当協会が行う各種公益事業について掲載する機関紙「月報はつめい」を配付するとともにホームページにおいて広報活動に努めた。

貸 借 対 照 表

平成25年3月31日現在

(単位:円)

科 目	当年度	前年度	増 減
<b>I 資産の部</b>			
1. 流動資産			
現金及び預金	82,139,826	0	82,139,826
未収入金	37,008,970	0	37,008,970
預け金	4,414,017	0	4,414,017
前払費用	0	706,873	△ 706,873
流動資産合計	123,562,813	706,873	123,562,813
2. 固定資産			
(1) 特定資産			
退職給付引当資産	4,500,000	0	4,500,000
特定資産合計	4,500,000	0	4,500,000
(2) その他固定資産			
その他固定資産合計	0	0	0
固定資産合計	4,500,000	0	4,500,000
資 産 合 計	128,062,813	706,873	127,355,940
<b>II 負債の部</b>			
1. 流動負債			
買掛金	10,706,893	0	10,706,893
未払金	100,468,785	706,873	99,761,912
前受金	4,680,000	0	4,680,000
預り金	1,520,344	0	1,520,344
流動負債合計	117,376,022	706,873	116,669,149
2. 固定負債			
退職給付引当金	4,500,000	0	4,500,000
固定負債合計	4,500,000	0	4,500,000
負 債 合 計	121,876,022	706,873	121,169,149
<b>III 正味財産の部</b>			
1. 指定正味財産			
寄付金	0	0	0
(うち特定資産への充当額)	( 0 )	( 0 )	( 0 )
2. 一般正味財産			
(うち特定資産への充当額)	( 0 )	( 0 )	( 0 )
正 味 財 産 合 計	6,186,791	0	6,186,791
負債及び正味財産合計	128,062,813	706,873	127,355,940

## 正味財産増減計算書

平成24年4月1日から平成25年3月31日まで

(単位:円)

科 目	当 年 度	前 年 度	増 減
I 一般正味財産増減の部			
[1] 経常増減の部			
1. 経常収益			
(1) 御 下 賜 金	50,000	—	—
(2) 受 取 会 費	34,710,000	—	—
(3) 事 業 収 益	3,903,194	—	—
① 発 明 奨 励 振 興 事 業 収 益	( 3,903,194 )	( — )	( — )
(4) 受 取 補 助 金 等	34,685,834	—	—
① J K A 補 助 金	( 34,685,834 )	( — )	( — )
(5) 雑 収 益	61,043	—	—
(6) 指 定 正 味 財 産 か ら の 振 替 額	244,887,762	—	—
経 常 収 益 計	318,297,833	—	—
2. 経常費用			
(1) 事 業 費	290,003,084	—	—
① 発 明 奨 励 振 興 事 業 費	( 158,520,772 )	( — )	( — )
② 事 業 人 件 費	( 107,746,610 )	( — )	( — )
③ 事 業 事 務 費	( 23,735,702 )	( — )	( — )
(2) 管 理 費	22,107,958	—	—
① 人 件 費	( 6,403,157 )	( — )	( — )
② 事 務 費	( 15,704,801 )	( — )	( — )
経 常 費 用 計	312,111,042	—	—
当 期 経 常 増 減 額	6,186,791	—	—
[2] 経常外増減の部			
(1) 経 常 外 収 益	0	—	—
(2) 経 常 外 費 用	0	—	—
当 期 経 常 外 増 減 額	0	—	—
当 期 一 般 正 味 財 産 増 減 額	6,186,791	—	—
一 般 正 味 財 産 期 首 残 高	0	—	—
一 般 正 味 財 産 期 末 残 高	6,186,791	—	—
II 指定正味財産増減の部			
(1) 受 取 寄 付 金	244,887,762	—	—
① 資 金 寄 付 ・ 協 賛 金	244,887,762	( — )	( — )
(2) 一 般 正 味 財 産 へ の 振 替 額	△ 244,887,762	—	—
当 期 指 定 正 味 財 産 増 減 額	0	—	—
指 定 正 味 財 産 期 首 残 高	0	—	—
指 定 正 味 財 産 期 末 残 高	0	—	—
III 正味財産期末残高	6,186,791	—	—

(注)「公益法人会計基準の運用指針(平成20年4月11日 平成21年10月16日改正 内閣府公益認定等委員会)」により前年度及び増減欄は記載していない。

正味財産増減計算書内訳表

平成24年4月1日から平成25年3月31日まで

(単位:円)

科 目	公益目的事業会計		法人会計	内部取引消去	合計
	公1 発明奨励等	小計			
I 一般正味財産増減の部					
[1]経常増減の部					
1. 経常収益					
(1)御下賜金	50,000	50,000	0		50,000
(2)受取会費	17,355,000	17,355,000	17,355,000		34,710,000
(3)事業収益	3,903,194	3,903,194	0		3,903,194
①発明奨励等事業収益	( 3,903,194 )	( 3,903,194 )	( 0 )		( 3,903,194 )
(4)受取補助金等	34,685,834	34,685,834	0		34,685,834
①JKA補助金	( 34,685,834 )	( 34,685,834 )	( 0 )		( 34,685,834 )
(5)雑収益	0	0	61,043		61,043
(6)指定正味財産からの振替額	234,009,056	234,009,056	10,878,706		244,887,762
経常収益計	290,003,084	290,003,084	28,294,749	0	318,297,833
2. 経常費用					
(1)事業費	290,003,084	290,003,084	0		290,003,084
①発明奨励等事業費	( 158,520,772 )	( 158,520,772 )	( 0 )		( 158,520,772 )
②事業人件費	( 107,746,610 )	( 107,746,610 )	( 0 )		( 107,746,610 )
③事業事務費	( 23,735,702 )	( 23,735,702 )	( 0 )		( 23,735,702 )
(2)管理費	0	0	22,107,958		22,107,958
①人件費	( 0 )	( 0 )	( 6,403,157 )		( 6,403,157 )
②事務費	( 0 )	( 0 )	( 15,704,801 )		( 15,704,801 )
経常費用計	290,003,084	290,003,084	22,107,958	0	312,111,042
当期経常増減額	0	0	6,186,791	0	6,186,791
[2]経常外増減の部					
(1)経常外収益					
経常外収益計	0	0	0	0	0
(2)経常外費用					
経常外費用計	0	0	0	0	0
当期経常外増減額	0	0	0	0	0
他会計振替額	0	0	0	0	0
当期一般正味財産増減額	0	0	6,186,791	0	6,186,791
一般正味財産期首残高	0	0	0	0	0
一般正味財産期末残高	0	0	6,186,791	0	6,186,791
II 指定正味財産増減の部					
(1)受取寄付金	234,009,056	234,009,056	10,878,706		244,887,762
①資金寄付・協賛金	( 234,009,056 )	( 234,009,056 )	( 10,878,706 )		( 244,887,762 )
(2)一般正味財産への振替額	△ 234,009,056	△ 234,009,056	△ 10,878,706		△ 244,887,762
当期指定正味財産増減額	0	0	0	0	0
指定正味財産期首残高	0	0	0	0	0
指定正味財産期末残高	0	0	0	0	0
III 正味財産期末残高	0	0	6,186,791	0	6,186,791

## 財務諸表に対する注記

1. 継続事業の前提に関する注記

継続事業の前提に関する重要な疑義を生じさせるような事象または状況は存在しない。

2. 重要な会計方針

当事業年度から「公益法人会計基準」(平成20年4月11日 平成21年10月16日改正 内閣府公益認定等委員会)を採用している。

(1) 引当金の計上基準

退職給付引当金: 役員退職手当金については、役員の退職手当金支給に備えるため、規則に基づく期末要支給額を計上

(2) 消費税等の会計処理

税抜方式によっている。

3. 特定資産の増減額及びその残高

特定資産の増減額及びその残高は、次のとおりである。 (単位:円)

科 目	前期末残高	当期増加額	当期減少額	当期末残高
特定資産				
退職給付引当資産	0	4,500,000	0	4,500,000
合 計	0	4,500,000	0	4,500,000

4. 特定資産の財源等の内訳

特定資産の財源等の内訳は、次のとおりである。 (単位:円)

科 目	当期末残高	(うち指定正味財 産からの充当額)	(うち一般正味財産 からの充当額)	(うち負債に対応 する額)
特定資産				
退職給付引当資産	4,500,000	( — )	( — )	( 4,500,000 )
合 計	4,500,000	( 0 )	( 0 )	( 4,500,000 )

5. 補助金等の内訳並びに交付者、当期の増減額及び残高

補助金等の内訳並びに交付者、当期の増減額及び残高は、次のとおりである。

(単位:円)

補助金等の名称	交付者	前期末残高	当期増加額	当期減少額	当期末残高	貸借対照表上の記 載区分
補助金						
平成24年度公益事業振興補助事業	公益財団法人JKA	0	34,685,834	34,685,834	0	
合 計		0	34,685,834	34,685,834	0	

6. 指定正味財産から一般正味財産への振替額の内訳

指定正味財産から一般正味財産への振替額の内訳は、次のとおりである。

(単位:円)

内 容	金額
経常収益への振替額	
受取資金寄附金	37,715,000
協賛金寄附金	41,904,762
受取特定寄附金	165,268,000
合 計	244,887,762

附 属 明 細 書

1. 特定資産の明細

財務諸表に対する注記に記載のとおりである。

2. 引当金の明細

〔単位：円〕

科 目	期首残高	当期増加額	当 期 減 少 額		期末残高
			目的使用	その他	
退職給付引当金	0	4,500,000	0	0	4,500,000

財 産 目 録

平成25年3月31日現在

(単位:円)

貸借対照表科目	場所・物量等	使用目的等	金 額
(流動資産)			
現 金	手元保管	運転資金として	1,580,114
預 金	当座預金(三井住友銀行本店営業部)	運転資金として	25,945,946
	普通預金(三井住友銀行本店営業部)	運転資金として	54,204,902
	振替貯金(ゆうちょ銀行本店)	運転資金として	408,864
未 収 入 金	JKA他	公益目的事業に係る補助金他	37,008,970
預 け 金	札幌中島少年少女発明クラブ他	公益目的事業に係る運営事業費として	4,414,017
流 動 資 産 合 計			123,562,813
(固定資産)			
特定資産			
退職給付引当資産	当座預金(三井住友銀行本店営業部)	退職給付引当金見合の引当資産	4,500,000
特 定 資 産 合 計			4,500,000
その他固定資産			
その他固定資産合計			
固 定 資 産 合 計			4,500,000
資 産 合 計			128,062,813
(流動負債)			
買 掛 金	シグマコミュニケーションズ他	公益目的事業に係る展示設営費他	10,706,893
未 払 金	一般社団法人発明推進協会他	公益目的事業に係る出向料他	100,468,785
前 受 金	会員	公益目的事業に係る25年度会費	4,680,000
預 り 金	芝税務署他	公益目的事業に係る所得税他	1,520,344
流 動 負 債 合 計			117,376,022
(固定負債)			
退職給付引当金	役員に対するもの	退職金の支払いに備えるもの	4,500,000
固 定 負 債 合 計			4,500,000
負 債 合 計			121,876,022
正 味 財 産			6,186,791



## 収 支 計 算 書

平成24年4月1日から平成25年3月31日まで

(単位:円)

科 目	予 算 額	決 算 額	増 減
I 一般正味財産増減の部			
[1] 経常増減の部			
1. 経常収益			
(1) 御 下 賜 金	50,000	50,000	0
(2) 受 取 会 費	55,000,000	34,710,000	20,290,000
(3) 事 業 収 益	5,005,000	3,903,194	1,101,806
① 発 明 奨 励 振 興 事 業 収 益	( 5,005,000 )	( 3,903,194 )	( 1,101,806 )
(4) 受 取 補 助 金 等	53,602,000	34,685,834	18,916,166
① J K A 補 助 金	( 53,602,000 )	( 34,685,834 )	( 18,916,166 )
(5) 雑 収 益	0	61,043	△ 61,043
(6) 指 定 正 味 財 産 からの振替額	265,268,000	244,887,762	20,380,238
経 常 収 益 計	378,925,000	318,297,833	60,627,167
2. 経常費用			0
(1) 事 業 費	354,630,000	290,003,084	64,626,916
① 発 明 奨 励 振 興 事 業 費	( 199,171,000 )	( 158,520,772 )	( 40,650,228 )
② 事 業 人 件 費	( 118,446,000 )	( 107,746,610 )	( 10,699,390 )
③ 事 業 事 務 費	( 37,013,000 )	( 23,735,702 )	( 13,277,298 )
(2) 管 理 費	24,227,000	22,107,958	2,119,042
① 人 件 費	( 8,263,000 )	( 6,403,157 )	( 1,859,843 )
② 事 務 費	( 15,964,000 )	( 15,704,801 )	( 259,199 )
経 常 費 用 計	378,857,000	312,111,042	66,745,958
当 期 経 常 増 減 額	68,000	6,186,791	△ 6,118,791
[2] 経常外増減の部			
(1) 経 常 外 収 益	0	0	0
(2) 経 常 外 費 用	0	0	0
当 期 経 常 外 増 減 額	0	0	0
当 期 一 般 正 味 財 産 増 減 額	68,000	6,186,791	△ 6,118,791
一 般 正 味 財 産 期 首 残 高	0	0	0
一 般 正 味 財 産 期 末 残 高	68,000	6,186,791	△ 6,118,791
II 指定正味財産増減の部			
(1) 受 取 寄 付 金	265,268,000	244,887,762	20,380,238
① 資 金 寄 付 ・ 協 賛 金	265,268,000	( 244,887,762 )	( 20,380,238 )
(2) 一 般 正 味 財 産 への振替額	△ 265,268,000	△ 244,887,762	△ 20,380,238
当 期 指 定 正 味 財 産 増 減 額	0	0	0
指 定 正 味 財 産 期 首 残 高	0	0	0
指 定 正 味 財 産 期 末 残 高	0	0	0
III 正味財産期末残高	68,000	6,186,791	△ 6,118,791

## 収 支 計 算 書 ( 資 金 ベ ー ス )

平成24年4月1日から平成25年3月31日まで

(単位:円)

科 目	予 算 額	決 算 額	増 減
I 事業活動収支の部			
1. 事業活動収入			
(1) 御 下 賜 金	50,000	50,000	0
(2) 会 費 収 入	55,000,000	34,710,000	20,290,000
(3) 事 業 収 入	5,005,000	3,903,194	1,101,806
① 発 明 奨 励 振 興 事 業 収 入 (	5,005,000 ) (	3,903,194 ) (	1,101,806 ) (
(4) 補 助 金 等 収 入	53,602,000	34,685,834	18,916,166
① J K A 補 助 金 収 入 (	53,602,000 ) (	34,685,834 ) (	18,916,166 ) (
(5) 寄 付 金 ・ 協 賛 金 収 入	265,268,000	244,887,762	20,380,238
① 資 金 寄 付 ・ 協 賛 金 収 入 (	100,000,000 ) (	79,619,762 ) (	20,380,238 ) (
② 特 定 寄 付 収 入 (	165,268,000 ) (	165,268,000 ) (	0 ) (
(6) 雑 収 入	0	61,043	△ 61,043
事業活動収入計	378,925,000	318,297,833	60,627,167
2. 事業活動支出			
(1) 事 業 費 支 出	350,800,000	286,178,084	64,621,916
① 発 明 奨 励 振 興 事 業 支 出 (	199,171,000 ) (	158,520,772 ) (	40,650,228 ) (
② 事 業 人 件 費 (	118,446,000 ) (	107,746,610 ) (	10,699,390 ) (
③ 事 業 事 務 費 (	33,183,000 ) (	19,910,702 ) (	13,272,298 ) (
(2) 管 理 費 支 出	23,557,000	21,432,958	2,124,042
① 人 件 費 (	8,263,000 ) (	6,403,157 ) (	1,859,843 ) (
② 事 務 費 (	15,294,000 ) (	15,029,801 ) (	264,199 ) (
事業活動支出計	374,357,000	307,611,042	66,745,958
事業活動収支差額	4,568,000	10,686,791	△ 6,118,791
II 投資活動収支の部			
1. 投資活動収入			
投資活動収入計	0	0	0
2. 投資活動支出			
(1) 特 定 資 産 支 出	0	4,500,000	△ 4,500,000
投資活動支出計	0	4,500,000	△ 4,500,000
投資活動収支差額	0	△ 4,500,000	4,500,000
当期収支差額	4,568,000	6,186,791	△ 1,618,791
前期繰越収支差額	0	0	0
次期繰越収支差額	4,568,000	6,186,791	△ 1,618,791



以上の通り相違ありません。

平成25年5月13日

公益社団法人 発 明 協 会

会 長 庄 山 悦 彦

平成24年度事業報告書及び財務諸表について監査した結果、いずれも適正かつ適法であることを認めます。

平成25年5月13日

監査役 梶 原 徳 二

監査役 安 井 義 博